

「21世紀のあるべき姿」とくに『国』と『地方』の関係について 2001.5.17

(衆議院憲法調査会報告)

九州大学大学院法学研究院教授 大隈義和

序「国」と「地方」の関わり…憲法学の観点から(国と“くに”(故郷・地方))

\* 「21世紀のあるべき姿」=予想される「21世紀のあるはずの姿」を論じる。

\* 地方自治=民主主義の原動力

a. 結論(1) 地方自治権=地方自治体が本来もっている固有の権利=改正の限界  
地方自治制=民主主義の根幹を支える制度

b. 結論(2) 自治権の強化

「代議制民主主義」から「理念としての直接民主主義」へ

c. 結論(3) 国会議員・地方議会議員=

「同僚・仲間としての代表」、かつ「高い知見と倫理的高潔さ」の要求  
「憲法により守るべきもの」と「これを適確に判断できる能力」

一 地方分権・地方自治の基本的考え方(「攻め」の地方自治への転換)

a. 地方自治の憲法的基礎—歴史的展開と「防御的な姿勢」

b. 固有権説の再構成—地方も統治の主体—「この『くに(地方)』のかたち」  
—「『攻め』の地方自治へ」

\* 日本経済新聞社調査「憲法に関する有権者の意識に関する世論調査5月3日」

「地方自治の考え方が不徹底だ」とする見解(25%)

首相公選制導入(56%)

「環境権など時代への対応」(34%)

二 国民主権と住民主権(自治)

a. 自治権の二つの理解—住民自治と団体自治(=「対等・強力」の関係など)

b. 住民自治ないし住民参加の問題に焦点

ア 民主主義体制のあり方=従来は代表制民主主義

イ 理念としての直接民主制原理~住民の直接参加の強化と住民投票制

住民投票制作動のための難問

三 議会代表等と国民の声—日本世論調査会調査結果および科研費調査結果から

(最近の首相公選制をめぐる調査、およびアンケート調査からの論証)

a. 「『憲法』に関する世論調査の結果」(日本世論調査会)から

~ 調査テーマは異なるが、国民参加への国民の声、要請が非常に高いと思われる

b. アンケート調査結果から(科学研究費調査粗集計結果=大隈・調・3月末現在)

\* 粗集計資料; アンケート配布先=県・市町村議員 合計 757名

返信(回収)数=

合計 251名(33.16%)

(県) =	80名
(市町村) =	159名
無回答等 =	12名

～地方議会議員の意識（質問（6）および（12）の次に提示）

\*質問（6）「あなたは直接民主制の方が民主主義のあり方としてはより好ましいと思いますか」

県議会議員 = 「はい（肯定）」…15名（18、7％）、  
= 「（否定）」…31名（38、7％）、  
= 「どちらともいえない」…三三名（41、2％）

市町村議会議員 = 「はい（肯定）」…43名（27、0％）  
= 「いいえ（否定）」…50名（31、4％）  
= 「どちらともいえない」…63名（39、6％）

質問（12）「あなたの自治体で住民投票を行った場合、その結果についてどうようにお考えですか。」

県議会議員 = 「議会はその結果に拘束される」…19名（23、7％）、  
= 「議会はその結果に拘束されない」…38名（47、5％）、  
= 「その他」…19名（23、7％）

市町村議会議員 = 「議会はその結果に拘束される」…65名（40、8％）、  
= 「議会はその結果に拘束されない」…66名（41、5％）、  
= 「その他」…12名（7、5％）、  
= 無回答…16名（10、0％）

～県・市町村でみれば、地域住民により一層密着して活動する市町村議員ほうが直接民主主義を支持する傾向

#### 四 選挙人（国民・住民）の複雑な期待（要望）

～相反する要望…議員は「国民・住民の仲間としての代表」

「政治的判断能力に優れ、人格において高潔な存在」

\*質問（17）「あなたは自らを『選良』（すぐれた人を選び出すこと、また、その選ばれた人であると自負しますか。）」

県議会議員 = (1) 51名（63、7％）  
= (2) 7名（8、7％）

無回答 = 19名（23、7％）、  
（付記で「どちらともいえない」とする方4名（5％）

市町村議会議員 = (1) 94名（59、1％）  
= (2) 21名（13、2％）

無回答 = 34名（21、3％）  
（付記で「どちらともいえない」とする方10名（6、2％）

## 五 まとめ

### a. 報告の内容面からの確認

#### ア 発想の転換（＝理念は直接民主主義）

\* 情報公開制度充実の経緯～直接参加型民主主義の進行

\* 直接民主制の理念としての重みも再確認

#### イ「地方自治の本旨」の明確化

\* 国民・住民が「山のあなたの空遠く」もとめた幸せ、UFOの謎かけに込められた地方自治実現への期待

\* チルチルとミチルが追い求めてきた幸せの鳥

地方分権の「約束の地」

### b. 憲法改正の形式的な側面、改正の手続きなどの問題―手順を尽くすこと

～何を変えるのかと何を変えてはならないのかの明確化…個別修正こそ可能

～「地方自治強化に焦点を絞ること＝民主主義の強化」こそが望まれること

～国民の目による多様な検証の場の設定

科学研究費アンケート調査結果（粗集計結果＝大隈・調・3月末現在）

*粗集計資料；アンケート配布先＝	県・市町村議員	合計	757名
返信（回収）数＝		合計	251名（33.16％）
	（県）＝		80名
	（市町村）＝		159名
	無回答等＝		12名

質問（1）あなたの所属する議会はどちらですか。

- （1）県議会 80名
- （2）市町村議会 159名
- その他の返信\* 12名（\*回答なし5名を含む）

\*質問（6）「あなたは直接民主制の方が民主主義のあり方としてはより好ましいと思いますか」

- 県議会議員 = 「はい（肯定）」…15名（18、7％）
- 「（否定）」…31名（38、7％）
- 「どちらともいえない」…33名（41、2％）
- 市町村議会議員 = 「はい（肯定）」…43名（27、0％）
- 「いいえ（否定）」…50名（31、4％）
- 「どちらともいえない」…63名（39、6％）

質問（12）「あなたの自治体で住民投票を行った場合、その結果についてどうようにお考えですか。」

- 県議会議員 = 「議会はその結果に拘束される」…19名（23、7％）
- 「議会はその結果に拘束されない」…38名（47、5％）
- 「その他」…19名（23、7％）
- 回答なし…4名（5、0％）
- 市町村議会議員 = 「議会はその結果に拘束される」…65名（40、8％）
- 「議会はその結果に拘束されない」…66名（41、5％）
- 「その他」…12名（7、5％）
- 回答なし…16名（10、0％）

質問（17）「あなたは自らを「選良」（すぐれた人を選び出すこと、また、その選ばれた人）であると自負しますか。

- 県議会議員 = 「はい（肯定）」…51名（62、5％）
- 「いいえ（否定）」…7名（8、7％）
- 回答なし…19名（23、7％）
- 付記「どちらともいえない」4名（5、0％）
- 市町村議会議員 = 「はい（肯定）」94名（59、1％）
- 「いいえ（否定）」21名（13、2％）
- 回答なし…34名（21、3％）
- 付記「どちらともいえない」10名（6、2％）